

調査委員会における調査研究報告書

教科名（保健体育）

No.1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（東京書籍） 発行者番号（ 2 ）	発行者（大日本図書） 発行者番号（ 4 ）	発行者（大修館書店） 発行者番号（ 50 ）
1 内 容	<p>①保健編・体育編の内容が学年ごとにまとめてあり、各学年の学習内容が明確になっている。</p> <p>②日常生活や小学校で学習したことを基に考えたり話し合ったりする活動「見つける」がある。</p> <p>③感染症の予防では、感染経路を断つ対策として、「手洗い・うがい」、「人混みを避ける」を取り上げている。</p>	<p>①保健編、体育編の指導内容が学年指定及び整理されており、系統立てた内容になっている。また、各学習単元で、「学習のねらい」が2種類（知識面と思考面）示され、学習の目標が明確になっている。</p> <p>②各学習のはじめに、経験や小学校での学習、事態の想定への対処法などを活用して考えさせる「つかもう」の項目がある。資料を参考にして学ぶ「やってみよう」や「話し合ってみよう」の項目がある。</p> <p>③感染症の予防では、感染経路を断つ対策として、「手洗い・うがい」、「人混みを避ける」、「マスク（咳エチケット）」を取り上げている。</p>	<p>①指導内容が整理され、文章量が適当で、内容が簡潔にまとめられている。</p> <p>②各学習項目が、身に付ける・まとめる・振り返る、の3ステップで構成され、主体的に学ぶ工夫がなされている。</p> <p>③感染症の予防では、感染経路を断つ対策の例示の他、コラムで3つの咳エチケットの行い方を取り上げている。</p>
2 構成・分量	<p>①各章末に、知識の習得状況を確認する「確認の問題」、知識を活用して考える「活用の問題」、更なる学びにつなげる「日常生活に活かそう」がある。</p> <p>②各学年とも保健編と体育編は、7対3の割合で構成されている。</p> <p>③総191頁（口絵、さくいんを除く）で、保健編全6章、体育編全3章で構成されている。</p> <p>④「①見つける」「②学習課題」「③課題の解決」「④広げる」の4ステップの構成で、1単位時間の学習の流れが明確になっている。</p>	<p>①各章末に「章末資料」、「学びを活かそう」、「重要な言葉」のページがあり、深い学びにつながる仕掛けがある。＜まとめの問題＞は、ウェブサイトに掲載している旨の記述がある。</p> <p>②各学年とも保健編と体育編は、7対3の割合で構成されている。</p> <p>③総171頁（口絵、さくいんを除く）で、保健編6章4単元、体育編3章3単元で構成されている。</p> <p>④「①つかもう」「②やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう」「③活用して深めよう」「④まとめよう」「⑤生活に活かそう」のステップで、1時間単位の流れが明確になっている。</p>	<p>①各項目末尾にある「ほり下げる」や「Web保健体育情報館」に触れることで、より発展的な内容を学習することができる。</p> <p>②各学年とも保健編と体育編は、5対1の割合で構成されている。</p> <p>③総179頁（口絵、さくいんを除く）で、保健編6章4単元、体育編3章3単元で構成されている。</p> <p>④「①課題をつかむ」「②本文」「③学習のまとめ」のステップで、1時間単位の流れが明確になっている。</p>
3 表記・表現	<p>①各章の資料、イラスト、絵が大きく、本文の説明とのバランスが適当である。</p> <p>②口絵に写真がたくさん使われている。</p> <p>③文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>①重要用語は太文字で表記されているが、重要事項が文章化されている箇所もある。</p> <p>②口絵に写真がたくさん使われている。近年活躍したアスリートが取り上げられえているだけでなく、体育理論と関連させた写真やオリパラの歴史を紹介している。</p> <p>③文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>①重要語句はフォントを変えることで強調され、捉えやすい表記となっている。</p> <p>②イラストを多用することで、まとまりのあるページ構成となっている。</p> <p>③文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>
4 使用上の便宜	<p>①章ごとに、学習に関連する小学校の学習内容と高校の学習内容が明記してあり、系統性に配慮されている。</p> <p>②本の大きさはAB判である。新しい用紙を開発しており従来比約3%軽量化した用紙を使用している。</p> <p>③章末に各章の学習内容に関連した資料を掲載するとともに、巻末に「キーワードの解説」を設け、学習内容の理解が深まるよう工夫している。</p> <p>④QRコードでアクセスできる、学習内容に関連したコンテンツが用意されている。</p>	<p>①章ごとに、「小学校で学習したこと」「中学校で学習すること」「高校で学習すること」が掲載されており、学習に系統性をもたせている。</p> <p>②本の大きさはAB判である。</p> <p>③章末に「学習のまとめ」を設けるとともに、ページの欄外に、学習に関連した情報を「ミニ知識」として紹介して、知識の拡張につながるよう工夫している。</p> <p>④QRコードでアクセスできる、学習内容に関連したコンテンツが用意されている。</p>	<p>①各項の「きょうの学習」と「課題をつかむ」に取り組むことで、各単元のねらいを捉えることができる。</p> <p>②本の大きさはAB判である。</p> <p>③学習内容に関連した「特集資料」を掲載するとともに、各単元に「コラム」があり、その項目に応じた情報を得られるよう工夫している。</p> <p>④QRコードでアクセスできる、学習内容に関連したコンテンツが用意されている。</p>

調査委員会における調査研究報告書

教科名（保健体育）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（学研教育みらい） 発行者番号（224）	発行者（ ） 発行者番号（ ）	発行者（ ） 発行者番号（ ）
1 内 容	①保健編、体育編の指導内容が学年別になっていて、学年の学習内容が明確である。また、各学習単元で「学習の目標」が示され、1時間の学習を通して何を学ぶかが明確になっている。 ②各学習のはじめに、経験や今ある知識を使って考えさせたり、取り組ませたりする項目「課題をつかむ」がある。 ③感染症の予防では、感染経路を断つ対策として、「手洗い・うがい」、「人混みを避ける」、「マスク」、「換気」等、様々な例を示している。	/	/
2 構成・分量	①各章末に「探求しよう」「章のまとめ」のページがある。 ②学年別に体育編と保健編がまとまった構成となっていて、学年の学習範囲が明確である。また、保健編と体育編は7対3の割合で構成されている。 ③総187頁（口絵、さくいんを除く）で、保健編6章6単元、体育編3章3単元で構成されている。 ④「①課題をつかむ」「②本文」「③考える・調べる」「④まとめる・深める」のステップで、1時間単位の流れが明確になっている。	/	/
3 表記・表現	①各章の資料、イラスト、図、絵は落ち着いた色使いである。本文の説明とのバランスが適当である。 ②口絵の写真や説明などから、学習への導入に興味をもたせている。 ③文字は、はっきり読み取ることができるユニバーサルデザインフォントを使用している。	/	/
4 使用上の便宜	①章ごとに、「小学校で学習したこと」、「高校で学習すること」が掲載されている。 ②本の大きさはA4判である。 ③各単元に「コラム」を設けるとともに、ページの欄外に、学習に関連した情報を「情報サプリ」として紹介して、知識の拡張につながるよう工夫している。 ④QRコードでアクセスできる、学習内容に関連したコンテンツが用意されている。	/	/